

【「使える漢字を増やそう」シリーズ】 漢字の学習1

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A ○業をなし遂げる。	
	B 「よく頑張った、○いね」とほめてもらう。	
2	A ○をしっかりおろして綱を引っ張る。	
	B ○痛に苦しむ。	
3	A 睡○不足で辛い。	
	B ○い目をこすって起きあがる。	
4	A 栄○盛衰。	
	B 木が○れる。	
5	A 苦しいからといって○避してはいけない。	
	B 鬼が来たのであわてて○げる。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ】 漢字の学習1

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	偉 (いぎょう・えらい)
	B	
2	A	腰 (こし・ようつう)
	B	
3	A	眠 (すいみん・ねむい)
	B	
4	A	枯 (えいこせいすい・かれる)
	B	
5	A	逃 (とうひ・にげる)
	B	

学習するみなさんへ：

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識しながら学習するようにしましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ] 漢字の学習2

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A しょうがは、 <u>発○</u> 作用がある食べ物です。	
	B 一気に階段を駆け上がったので○が噴き出た。	
2	A 勝利を祝して○杯する。	
	B 天気が良いので布団を○かす。	
3	A 記念写真の撮○をする。	
	B 暗闇から人○が見えた。	
4	A 朝寝坊して学校に○刻しそうになった。	
	B 父から「帰りは○くなる」と電話があった。	
5	A 自動車の○音がうるさくて困っている。	
	B 突然、窓から鳥が入ってきて大○ぎになった。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ 漢字の学習2

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	汗 (はっかん・あせ)
	B	
2	A	乾 (かんばい・かわかす)
	B	
3	A	影 (さつえい・ひとかげ)
	B	
4	A	遅 (ちこく・おそくなる)
	B	
5	A	騒 (そうおん・さわぎ)
	B	

学習するみなさんへ：

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識しながら学習するようにしましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ] 漢字の学習3

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 大学で物理学を <u>専○</u> する。	
	B 敵を一気に <u>○め</u> 落とす。	
2	A <u>○群</u> の成績で優勝した。	
	B この道を <u>○ける</u> と目的地はすぐそこだ。	
3	A ヨーロッパの <u>宮○</u> のような建物だ。	
	B 江戸時代の <u>○様</u> の暮らしに興味がある。	
4	A 台風で床下 <u>○水</u> する。	
	B 水に <u>○す</u> と軟らかくなる。	
5	A 将来は <u>○医</u> になりたい。	
	B <u>○</u> のように荒々しい。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ 漢字の学習3

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	攻 (せんこう・せめおとす)
	B	
2	A	抜 (ばつぐん・ぬける)
	B	
3	A	殿 (きゅうでん・との)
	B	
4	A	浸 (しんすい・ひたす)
	B	
5	A	獣 (じゅうい・けもの)
	B	

学習するみなさんへ：

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識しながら学習するようにしましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ] 漢字の学習4

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 春と秋の○岸には墓参りをする。	
	B ○のアイデアが認められた。	
2	A このお菓子には○味料が入っていません。	
	B 孫はかわいいので、ついつい○やかす。	
3	A 相○に助け合い理解し合うことが必要です。	
	B お○いに譲り合えばけんかにならないよ。	
4	A 修学旅行の宿○先はペンションだ。	
	B 友だちの家に○まる。	
5	A ○外線が強いと体に良くないらしい。	
	B ○色のユニフォームが特徴的だった。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ 漢字の学習4

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	彼 (ひがん・かれ)
	B	
2	A	甘 (かんみりょう・あまやかす)
	B	
3	A	互 (そうご・たがい)
	B	
4	A	泊 (しゅくはく・とまる)
	B	
5	A	紫 (しがいせん・むらさき)
	B	

学習するみなさんへ：

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識しながら学習するようにしましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ] 漢字の学習5

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A あの選手は <u>強○</u> の外野手として有名だ。	
	B パソコンを長時間使って <u>○</u> がこった。	
2	A 現代は <u>太陽○</u> が使われることが多い。	
	B <u>○</u> の上ではもう春だね。	
3	A みんなから <u>信○</u> される人になりたい。	
	B 母に <u>○む</u> ことにする。	
4	A 鳥取 <u>砂○</u> へ行ってみたい。	
	B あの <u>○</u> の上でお弁当を食べよう。	
5	A 紙飛行機の <u>面○</u> をピンと伸ばす。	
	B 鳥のように <u>○</u> があればいいなあと思うことがある。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ 漢字の学習5

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	肩 (きょうけん・かた)
	B	
2	A	曆 (たいようれき・こよみ)
	B	
3	A	頼 (しんらい・たのむ)
	B	
4	A	丘 (さきゅう・おか)
	B	
5	A	翼 (りょうよく・つばさ)
	B	

学習するみなさんへ：

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識しながら学習するようにしましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ] 漢字の学習6

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A このあたりの川辺は葦が <u>繁○</u> している。	
	B 青々と草木が <u>○る</u> 風景が好きだ。	
2	A この部屋は何 <u>○分</u> の広さがあるんだろうね。	
	B <u>○</u> の上に寝っ転がると気持ちいいよね。	
3	A いすを数えるときは「 <u>○</u> 」が単位です。	
	B <u>○</u> のある道具はいすと同じ単位で数えます。	
4	A <u>地○</u> に備えておく準備をいつもしておく。	
	B あまりの恐ろしさに体中が <u>○える</u> 。	
5	A 昔は栄えていた街が、すっかり <u>○廃</u> していた。	
	B 今日は、風が強く、波も <u>○い</u> 。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ] 漢字の学習6

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	茂 (はんも・しげる)
	B	
2	A	畳 (じょう・たたみ)
	B	
3	A	脚 (きゃく・あし)
	B	
4	A	震 (じしん・ふるえる)
	B	
5	A	荒 (こうはい・あらい)
	B	

学習するみなさんへ：

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識しながら学習するようにしましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ] 漢字の学習7

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A ○ <u>労</u> がたまるとかぜをひきやすいそうだ。	
	B 遠足で一日中歩いたので、○ <u>れた</u> 。	
2	A <u>頭</u> ○を整えることは、大切な身だしなみの一つです。	
	B 長い○ <u>を</u> をぱっさりと切った。	
3	A <u>就</u> ○時刻を守らず叱られた。	
	B 赤ちゃんを○ <u>かす</u> のはたいへんだ。	
4	A キトラ古墳の○ <u>画</u> の写真を見る。	
	B 最近は土でできた○ <u>は</u> めずらしい。	
5	A <u>休</u> ○を取って旅行に行く。	
	B ○ <u>な</u> ときにはよく散歩する。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ 漢字の学習7

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	疲 (ひろう・つかれた)
	B	
2	A	髪 (とうはつ・かみ)
	B	
3	A	寝 (しゅうしん・ねかす)
	B	
4	A	壁 (へきが・かべ)
	B	
5	A	暇 (きゅうか・ひま)
	B	

学習するみなさんへ：

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識しながら学習するようにしましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ] 漢字の学習8

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A ここで一気に <u>反○</u> して逆転を目指そう！	
	B ハンターが獲物を見事に <u>○ち落とす</u> 。	
2	A <u>○躍</u> 力をつけて強いスパイクを打つ。	
	B ウサギが元気に <u>○ねる</u> 。	
3	A 予定を <u>変○</u> する。	
	B 春とはいえ、夜も <u>○ける</u> とさすがに寒い。	
4	A 飛行機が <u>○陸</u> した。	
	B 親のありがたみは <u>○れる</u> とわかるものだよ。	
5	A こつこつ <u>貯○</u> しましょう。	
	B エネルギーを <u>○える</u> 。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ 漢字の学習8

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	撃 (はんげき・うちおとす)
	B	
2	A	跳 (ちょうやく・はねる)
	B	
3	A	更 (へんこう・ふける)
	B	
4	A	離 (りりく・はなれる)
	B	
5	A	蓄 (ちよちく・たくわえる)
	B	

学習するみなさんへ：

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識しながら学習するようにしましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ] 漢字の学習9

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 落語家の○名披露があった。	
	B 突然スズメバチに○われる。	
2	A 土佐の○犬を見たことはありますか。	
	B この○いに負けるわけにはいかない。	
3	A 切手やコインを集めるのが○味です。	
	B ○のある庭でくつろぐ。	
4	A とれたてのお魚は新○でおいしい。	
	B ロングシュートが○やかに決まる。	
5	A 柔○体操で体をほぐす。	
	B つきたての○らかいお餅をほおばる。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

「使える漢字を増やそう」シリーズ 漢字の学習9

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	襲 (しゅうめい・おそわれる)
	B	
2	A	闘 (とうけん・たたかい)
	B	
3	A	趣 (しゅみ・おもむき)
	B	
4	A	鮮 (しんせん・あざやか)
	B	
5	A	軟 (じゅうなん・やわらかい)
	B	

学習するみなさんへ：

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識しながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ】 漢字の学習10

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A ワルツに合わせて舞○会で踊る。	
	B 満員電車で足を○まれる。	
2	A 担任の先生の影○で小説が好きになった。	
	B 応援の音が○く。	
3	A 高校に行ったら○奏楽部に入部するつもりだ。	
	B 自転車で走りながら口笛を○く。	
4	A その状況は○常ではなかった。	
	B 駅員さんに切符の買い方を○ねる。	
5	A 車同士が接○して事故になった。	
	B 彼の優しい人柄に○れ、心が温かくなった。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ】 漢字の学習10

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	踏 (ぶとうかい・ふまれる)
	B	
2	A	響 (えいきょう・ひびく)
	B	
3	A	吹 (すいそうがく・ふく)
	B	
4	A	尋 (じんじょう・たずねる)
	B	
5	A	触 (せっしょく・ふれる)
	B	

学習するみなさんへ：

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識しながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習11

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 彼は昔 <u>鉄○</u> 投手と呼ばれていた。	
	B 毎日50回ずつ <u>○立</u> て伏せをして鍛えている。	
2	A <u>養○</u> 場で働く。	
	B <u>○</u> の鳴き声で目が覚める。	
3	A この料理は <u>香○料</u> がよくきいている。	
	B 子どものころは <u>○い</u> 食べ物は嫌いだった。	
4	A <u>抑○</u> をつけた話し方をする。	
	B 天ぷらを <u>○げ</u> るコツを教えてください。	
5	A これは <u>○質</u> プラスチックを使った製品です。	
	B <u>○い</u> ボールが当たっていたい。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習11

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	腕 (ワン・うで)
	B	
2	A	鶏 (ケイ・にわとり)
	B	
3	A	辛 (シン・からい)
	B	
4	A	揚 (よう・あげる)
	B	
5	A	硬 (コウ・かたい)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習12

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 亡くなった祖父はとても○和な性格だった。	
	B ○やかな小春日和ですね。	
2	A テストの添○をする。	
	B かなで木を○る。	
3	A ○筆の芯が折れる。	
	B ○色の空が寒々としている。	
4	A この町内には酒屋さんが三○ある。	
	B 家の○先で三毛猫が昼寝をしている。	
5	A 有名な水○画。	
	B 服に○がついて困った。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習12

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	穩 (オン・おだやかな)
	B	
2	A	削 (サク・けずる)
	B	
3	A	鉛 (エン・なまり)
	B	
4	A	軒 (ケン・のき)
	B	
5	A	墨 (ボク・すみ)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習13

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A ○ <u>筋</u> 分のとりすぎは体によくないよ。	
	B 動物性の○。	
2	A あまりの暑さに○ <u>水</u> の近くで一休みする。	
	B ホースが破裂して水が○ <u>き</u> 出す。	
3	A ○ <u>風</u> 機の風が心地よい。	
	B 平家物語の○ <u>の</u> 的の話を読む。	
4	A ○ <u>獵</u> 民族と農耕民族。	
	B 潮干○ <u>り</u> を楽しむ。	
5	A <u>水</u> ○ <u>液</u> を作る。	
	B 氷が○ <u>け</u> て水になる。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習13

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	脂 (シ・あぶら)
	B	
2	A	噴 (フン・ふく)
	B	
3	A	扇 (セン・おうぎ)
	B	
4	A	狩 (シュ・かり)
	B	
5	A	溶 (ヨウ・とける)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習14

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 船が○没する。	
	B 夕日が海に○む。	
2	A 害虫の○除。	
	B ○け足で退場する。	
3	A 細かく○動している。	
	B 手を大きく○る。	
4	A 彼の成績はとても優○です。	
	B 武芸に○でている。	
5	A 景品を○得する。	
	B ○物をとる。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習14

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	沈 (チン・しずむ)
	B	
2	A	駆 (ク・かける)
	B	
3	A	振 (シン・ふる)
	B	
4	A	秀 (シュウ・ひいでる)
	B	
5	A	獲 (カク・える)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習15

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A ○冬隊が南極基地に向かった。	
	B 気がつけば年を○していた。	
2	A ○腺が弱いと言われる。	
	B 鬼の目にも○。	
3	A トロフィーの○呈。	
	B プレゼントを○る。	
4	A 水田に水○が育つ。	
	B ○の生長を楽しみにする。	
5	A ○山の失敗をしてきました。	
	B あの○まで登ろう。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習15

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	越 (エツ・こす)
	B	
2	A	涙 (ルイ・なみだ)
	B	
3	A	贈 (ゾウ・おくる)
	B	
4	A	稲 (トウ・いね)
	B	
5	A	沢 (タク・さわ)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習16

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 会場内は禁○です。	
	B ○が立ちこめる。	
2	A 急な○雨に見舞われて大変だった。	
	B 子どものころから○は嫌いです。	
3	A 犯人を追○する。	
	B この足○は雪男のものかも知れない。	
4	A 姉は○愛小説に夢中です。	
	B 淡い○心を抱く。	
5	A 爆○が仕掛けられているかもしれない。	
	B 大好きな曲をギターで○く。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習16

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	煙 (エン・けむり)
	B	
2	A	雷 (ライ・かみなり)
	B	
3	A	跡 (セキ・あと)
	B	
4	A	恋 (レン・こい)
	B	
5	A	弾 (ダン・ひく)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習17

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A タレントの彼は非常に <u>多○</u> だ。	
	B あまりの <u>○し</u> さに目が回る。	
2	A 制服が <u>貸○</u> される。	
	B <u>○え</u> られた時間は残り少ない。	
3	A 彼の絵は <u>○写</u> がていねいだ。	
	B 美しい風景を <u>○く</u> 。	
4	A <u>○力</u> を測定する。	
	B 鉄棒をしっかり <u>○る</u> 。	
5	A <u>○群</u> にうまいと評判の店。	
	B 刀を <u>○く</u> 。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習17

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	忙 (ボウ・いそがしさ)
	B	
2	A	与 (ヨ・あたえる)
	B	
3	A	描 (ビョウ・えがく)
	B	
4	A	握 (アク・にぎる)
	B	
5	A	抜 (バツ・ぬく)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習18

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 証拠品を○収める。	
	B 横綱が○し出しで勝つ。	
2	A 激○して大きな声を出す。	
	B 兄にいたずらをして○られた。	
3	A ルール○反はしないように。	
	B 約束と○うよ、それは。	
4	A ○目で金魚すくいをする。	
	B 額○を買いに行く。	
5	A 大きな太○の音がする。	
	B 舌○を打つ。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習18

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	押 (オウ・おす)
	B	
2	A	怒 (ド・おこる)
	B	
3	A	違 (イ・ちがう)
	B	
4	A	縁 (エン・ふち)
	B	
5	A	鼓 (コ・つづみ)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習19

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A その説明には <u>矛○</u> がある。	
	B <u>優勝○</u> を受けとる。	
2	A いらまれて <u>恐○</u> を感じる。	
	B 夜の学校は <u>○い</u> 。	
3	A 世界の平和のために <u>○力</u> したい。	
	B 資源が <u>○きて</u> なくなる日は近い。	
4	A 監督が選手の <u>交○</u> を告げる。	
	B <u>両○商</u> を営む。	
5	A <u>○眼</u> で視力を測る。	
	B <u>○</u> になって海に飛び込む。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習19

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	盾 (ジュン・たて)
	B	
2	A	怖 (フ・こわい)
	B	
3	A	尽 (ジン・つきる)
	B	
4	A	替 (タイ・かえ(がえ))
	B	
5	A	裸 (ラ・はだか)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習20

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A ○重に作戦を練る。	
	B 言葉を○みなさい。	
2	A ○明人間になってみたい。	
	B ○き通るような白さ。	
3	A 披○宴で歌を歌う。	
	B 雨上がりで、草に○がついている。	
4	A 勝利を祝って乾○する。	
	B ○に酒をつぐ。	
5	A ○心なところで失敗をして後悔する。	
	B 父の言葉を○に銘じる。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習20

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	慎 (シン・つつしむ)
	B	
2	A	透 (トウ・すく)
	B	
3	A	露 (ロ・ロウ・つゆ)
	B	
4	A	杯 (ハイ(パイ) ・さかずき)
	B	
5	A	肝 (カン・きも)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習21

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 揚子○は大きな川です。	
	B 大きな川の入り○。	
2	A 歴史の授業で世界恐○について学んだ。	
	B 財布を忘れて○てる。	
3	A 急に指名されたので動○してしまった。	
	B どちらにしようかと、心が○れている。	
4	A 参加してくれるならだれでも大歡○です。	
	B 友だちを駅まで○えに行く。	
5	A 雨が降って○度が高い一日だった。	
	B 朝干した洗濯物がまだ○っている。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習21

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	江 (コウ・え)
	B	
2	A	慌 (コウ・あわてる)
	B	
3	A	揺 (ヨウ・ゆれる)
	B	
4	A	迎 (ゲイ・むかえる)
	B	
5	A	湿 (シツ・しめる)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習22

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 開店セールに行ったら○品をもらえた。	
	B まだまだできが○いよ。	
2	A 山火事がようやく○火した。	
	B 村同士の争いごとを○める。	
3	A 雲○の差。	
	B 小さな子どもが○遊びをしている。	
4	A 客室を改装したおかげで○働率が上がった。	
	B しっかり○いで家族を養う。	
5	A 戦いに加わることを○否する。	
	B どうしてもいやなので強く○む。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習22

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	粗 (ソ・あらい)
	B	
2	A	鎮 (チン・しずめる)
	B	
3	A	泥 (デイ・どろ)
	B	
4	A	稼 (カ・かせぐ)
	B	
5	A	拒 (キョ・こばむ)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習23

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 長時間雨に打たれて、からだか○弱する。	
	B 祖父はずいぶん○えてしまった。	
2	A 初志○徹してがんばりなさい。	
	B 意志を長く○くことは大変なことだよ。	
3	A 盗賊が財宝を略○する。	
	B あまりの美しさに心を○われる。	
4	A お年寄りの長○を祝う。	
	B おめでたいことを「○」という。	
5	A 球団は彼に高額の○約金を支払った。	
	B 夫婦の○りを交わす。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習23

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	衰 (スイ・おとろえる)
	B	
2	A	貫 (カン・つらぬく)
	B	
3	A	奪 (ダツ・うばう)
	B	
4	A	寿 (ジュ・ことぶき)
	B	
5	A	契 (ケイ・ちぎり)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習24

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A 部活動の○間の先生。	
	B 昔を○みる。	
2	A 無理をしない方が○明だ。	
	B あの犬はよく訓練されていて○い。	
3	A ○大広告には気をつけよう。	
	B 自分がかんばったことを○りに思いなさい。	
4	A ○示物を貼りかえる。	
	B 大会旗を○げる。	
5	A しばらく休○しましょう。	
	B 家族が集まって茶の間で○う。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習24

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	顧 (コ・かえりみる)
	B	
2	A	賢 (ケン・かしこい)
	B	
3	A	誇 (コ・ほこり)
	B	
4	A	掲 (ケイ・かかげる)
	B	
5	A	憩 (ケイ・いこう)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習25

年 組 氏名

【課題】

1～5のそれぞれの文、ABの○には同じ漢字が入ります。共通してあてはまる正しい漢字を書きましょう。

	文	漢字
1	A みんなに <u>激○</u> され、最後まで走り抜いた。	
	B 学問に <u>○む</u> のは学生の本分だ。	
2	A 彼はUFOと <u>○遇</u> したと話した。	
	B 暴風に <u>○い</u> 、船が転覆してしまった。	
3	A <u>近○</u> の家と協力して防犯に努める。	
	B <u>○り</u> 合わせの席に座る。	
4	A サッカーのテレビ中 <u>○</u> を観る。	
	B 父の仕事を <u>○ぐ</u> 。	
5	A 企業として <u>利○</u> を追求しなければならない。	
	B 冷たい水でのどを <u>○す</u> 。	

【この問題を解くために】

まずはじめに、ABどちらかにあてはまりそうな漢字を思い浮かべましょう。それから、その漢字がもう一方の文にあてはまるかどうかを考えましょう。ただし、同じ漢字ですが、読み方は違いますから気をつけましょう。

【「使える漢字を増やそう」シリーズ パートⅡ】 漢字の学習25

年 組 氏名

【答え合わせが終わったら】

もう一度問題用紙を見ながら、1～5のそれぞれの文、ABの○に漢字をあてはめて、書き写しましょう。

	文	漢字
1	A	励 (レイ・はげむ)
	B	
2	A	遭 (ソウ・あう)
	B	
3	A	隣 (リン・となり)
	B	
4	A	継 (ケイ・つぐ)
	B	
5	A	潤 (ジュン・うるおう)
	B	

学習するみなさんへ

漢字には音読みと訓読みがあるほか、漢字によってはさまざまな意味を持つものがあります。ただ字の形を覚えてしまうというのではなく、意味や使い方をいつも意識ながら学習するようにしましょう。